

# プレカット ニュース

一般社団法人 全国木造住宅機械プレカット協会

東京都千代田区永田町2丁目4番3号永田町ビル6階

TEL 03 (3580) 3215 FAX 03 (3580) 3226

<http://www.precut-kyokai.com>

## 第1回 国産材の安定供給体制の構築に向けた 需給情報連絡協議会の開催

この協議会は、国産材の安定供給体制の構築に向けて、川上から川下まで幅広く様々な関係者が木材及び苗木等の需給情報の収集・共有を図るため林野庁が開催しているものです。

4月の臨時情報交換会に引き続き、9月10日に今年度第1回の協議会がWEB形式で開催されました。

協議会では、外材の今後の見通しとして、北米材は価格が多少下がるものの高止まり、日本への輸入量も多少減少の見込み。欧州材は域内需要が好調で日本向けは増えない見込みとのことでした。南洋材合板は現地がコロナ禍で生産が伸びず、日本への輸出が増えるかは微妙。価格も下がることはないが製材品のような高騰はないだろう。国産合板については昨年同期よりも生産量はむしろ増えている中で、製材品の値上がりを見て先物を押える仮需が発生しているのではないかとの声がありました。

また、中小の大工・工務店の団体からは、資材が手に入らない、プレカット工場から材が入らないなど危機的な状況にあるとの発言がありました。

当協会からも業況調査等を元に「原材料が品薄でその確保に苦勞する一方で、プレカット工場が操業度や加工量を増やして受注に対応しようと努力していること」等を伝えるつもりでしたが、会議時間の関係で発言の機会を得られませんでした。

林野庁や国土交通省住宅局からは、川上・川中・川下の安定取引の重要性が高まっており、協定取引や情報交換の緊密化を促していきたいとの発言がありました。

## 令和3年度プレカットCAD技術者研修会のご案内

今年度のプレカットCAD技術者研修会を下表のとおり開催することとしましたのでお知らせします。この研修はプレカットCAD技術者に必要な知識について、入門編から上級編までをコース分けして、木質構造・材料・伏図作成等の専門家による短期集中的な研修を行うものです。

3年度の受講者募集や申し込み受付は11月中旬頃から開始する予定です。詳細につきましてはその時に改めてご案内します。プレカット協会会員企業以外にお勤めの方も受講可能です。なお、1級コースの受講者は、2級コースを受講して当協会のプレカットCAD技術者2級に登録されていることを要件としていますのでご留意願います。

また、この研修修了者の登録有効期間は5年間です。登録有効の期限を迎える方は上級コースや登録更新の研修の受講をお願いします。3年度が更新期となる方は、登録番号が「27」で始まる方と「26」で始まる方ですので、ご自分の登録番号をご確認ください。

今年度も多数の方々のご参加をお待ちしています。

研修コース	開催日程	開催方法	定員
2,3級コース	令和4年2月2日(水)、8日(火)、9日(水)の3日間	オンライン(Zoom)	70人程度
1級コース	令和4年3月1日(火)、2日(水)、3日(木)の3日間	同上	20人程度
2級登録更新	令和4年2月17日(木)	同上	
1級登録更新	令和4年3月10日(木)	同上	

# 令和2年度 協会会員工場基礎調査の結果について (第3回)

## 1 主要構造材加工設備の保有数等

令和2年12月末現在で調査(工場数37)

		なし	1	2	3	4台以上	計	1工場当り 平均保有数	前年 平均
横架材 加工 ライン	工場数	2	18	11	4	2	37		
	延台数	0	18	22	12	11	63	1.70	(2.17)
	うち金物対応 工場率 (%)	—	89	64	100	100	78		
柱材 加工 ライン	工場数	1	21	10	3	2	37		
	延台数	0	21	20	9	12	62	1.68	(2.11)
	うち金物対応 工場率 (%)	—	81	90	100	100	84		
複合 ライン	工場数	31	4	3	0	0	37		
	延台数	0	4	6	0	0	10	0.27	(0.20)
	うち金物対応 工場率 (%)	—	100	100	—	—	100		
ロボット	工場数	25	8	4	0	0	37		
	延台数	0	8	8	0	0	16	0.43	(0.54)

## 2 羽柄材加工設備等の導入状況

		保有台数別工場数						機械の 導入を 予定	機械の 導入を 検討中
		なし	1台	2台	3台	4台以上	計		
羽柄材 加工 設備	工場数	1	10	20	2	4	37	2	2
	延台数	0	10	40	6	26	82		
	機械の賦存状況 (%)	—	12	49	7	32	100		
パネル 加工 設備	工場数	3	15	13	2	4	37	0	1
	延台数	0	15	26	6	22	69		
	機械の賦存状況 (%)	—	22	37	9	32	100		
大断面 加工 設備	工場数	22	14	1	0	0	37	2	2
	延台数	0	14	2	0	0	16		
	機械の賦存状況 (%)	—	88	12	0	0	100		

### 【調査結果の分析】

- 1 横架材加工ライン、柱材加工ラインでは、3以上の生産ラインを持つ比較的規模の大きな工場では、全ての機械が金物対応となっています。一方、生産ラインの少ない工場では、金物に対応しないラインが一定数見られます。複合ラインでは全てが金物対応となっています。複雑な加工に対応可能な複合ラインやロボットのラインは、一部の工場に導入され集中して対応されているものと推測されます。
- 2 羽柄材加工設備やパネル加工設備は、ほとんどの工場に設置されていますが、設置機械数が多く規模が大きな工場で、集中的かつ専門的に対応されているものと推測されます。
- 3 大断面加工設備は、一般の木造住宅向けに大量のプレカットを処理する設備ではないことから、多くの機械を集中的に設置・運用し難い面があります。しかしながら、大規模な木造建築物に対応するためには不可欠な設備であることから、設置した工場と未設置の工場が連携して大規模需要に対応することも一つの方策かと思慮するところです。

# プレカット業況調査 (令和3年8月期)

一般社団法人全国木造住宅機械プレカット協会調べ (回答率52%)

設 問	回答比率 (%)			DI	前回DI
	(1)	(2)	(3)		
1-1 今月の受注額は3ヶ月前と比べて如何ですか。 (1) 好転 (5%以上の伸び) (2) 変わらず (±5%未満) (3) 悪化 (5%以上の減)	43	47	10	+33	+29
1-2 3ヶ月後の受注額をどう予測しますか。 (1) 好転 (5%以上の伸び) (2) 変わらず (±5%未満) (3) 悪化 (5%以上の減)	30	57	13	+17	-4
2-1 貴社の坪当たり平均総加工単価はいくらですか。	全体平均:6,300円(対前回調査+400円)				
3-1 今月の製品加工単価は3ヶ月前と比べて如何ですか。 (1) 好転 (5%以上の伸び) (2) 変わらず (±5%未満) (3) 悪化 (5%以上の減)	27	67	7	+20	+7
3-2 3ヶ月後の製品加工単価をどう予想しますか。 (1) 好転 (5%以上の伸び) (2) 変わらず (±5%未満) (3) 悪化 (5%以上の減)	17	72	10	+7	+4
4-1 今月の資材(製品)入手状況は如何ですか。 (1) 容易 (2) 変わらず (3) 困難	0	20	80	-80	-93
4-2 3ヶ月後の資材(製品)入手状況をどう予測しますか。 (1) 容易 (2) 変わらず (3) 困難	7	37	57	-50	-96
5-1 今月の収益は3ヶ月前と比べて如何ですか。 (1) 好転 (5%以上の伸び) (2) 変わらず (±5%未満) (3) 悪化 (5%以上の減)	30	43	27	+3	-11
5-2 3ヶ月後の収益をどう予測しますか。 (1) 好転 (5%以上の伸び) (2) 変わらず (±5%未満) (3) 悪化 (5%以上の減)	13	63	23	-10	-39

\*DI=(1)の%- (3)の%、+の数値が大きいほど好況、-の数値が大きいほど不況。

\*前回調査:令和3年5月

## 【調査結果の分析】

- 受注額の今月のDIは、+33で前回調査時(令和3年5月期)よりも好転する一方で、悪化が半減しています。また、3ヶ月後の予測も前回調査時が-4であったものが、+17に好転する見通しとなっています。
- 加工単価は、平均総加工単価が6,300円にアップしており、製品加工単価のDIも前回調査時からさらに好転するとともに、3ヶ月後についても+7とほぼ同様の傾向が続くと予測されています。
- 資材入手状況についての今月のDIは、-80でほとんどの者が入手困難な状況にあります。また、3ヶ月後の予測DIについても-50と現状よりも若干改善するものの、相変わらず入手困難な状況が続くものと予測されています。
- 3か月前と比べた収益については、DIがマイナスから+3に好転しており、好調な受注が収益面の改善につながってきた観があります。しかしながら、3ヶ月後の収益予測は、前回調査時よりも幾分改善したものの、相変わらず悪化の見通しが強くDIも-10の悪化と予測されています。

# プレカット部材瑕疵保証制度

3つの安心をご提供致します！

- ① 保証期間10年間 → 長期間の安心
- ② 保証金額最大2,000万円 → 万が一にも安心
- ③ プレカット部材瑕疵事故発生ゼロ → 高品質の証



## ～瑕疵保証制度の内容～

### 保証内容

- 登録業者/全国住宅プレカット部材共済会登録会員
- 被保証者/本制度に登録した業者からプレカット部材を購入した建物施工業者等

保証建物	保証対象製品を使用し施工された以下の建物 ①新築住宅 ②基礎の新設を伴う増築 ③店舗・事務所
保証対象製品	●主要構造材部分(土台、柱、梁、桁、横架材)の含水率20%±5%以下。 ●プレカット部材に限定し、邸別管理がなされている。
保証対象事象	●保証対象事象は、品確法上の瑕疵、増築及び店舗・事務所の場合は、品確法上の瑕疵と同等の瑕疵であり、且つ通常荷重下において、保証対象製品に次の現象(瑕疵)が生じているものをいいます。 ・水平部材について3/1000以上の傾斜が生じている。 ・鉛直部材について3/1000以上の傾斜が生じている。
保証内容	●本制度は、製品の瑕疵により発生した次の損害を保証します。 ・A.プレカット部材自体の瑕疵の修補費用(取り替え費用も含む)。 ・B.プレカット部材の瑕疵に起因するプレカット部材以外の保証建物に波及した損害。
保証の支払限度額	●上記保証内容A,B合わせて .....2,000万円
保証期間	●引渡日より10年間 <small>※分譲住宅の場合は1年を経過した住宅を除く</small>



安心&高品質の証

共済会の瑕疵保証プレカット部材は、**10年以上の無事故実績付きの高品質材**  
⇒ **お施主様には安心を、工務店様には他社との違いのPRに**

## 農林水産業・食品産業の作業安全のための規範

農林水産業・食品産業の現場では、他の産業と比べても作業事故の発生率が高い傾向にあります。作業安全対策のためには、現場の事業者の方々に日々の作業安全への意識を持っていただき、必要な対策を行っていただくことや、事業団体から事業者へ取組の助言や支援をしていただくことも重要であることから、令和3年2月に農林水産省で標記の規範が策定されました。

この規範は、農業、林業、木材産業、漁業、食品産業に共通する基本的な事項を整理した「共通規範」と、これらの業種ごとに取り組んでいただきたい事項を整理した「個別規範」からなり、それぞれ「事業者向け」と「事業者団体向け」に整理されています。

詳細は林野庁のホームページ 農林水産業・食品産業の作業安全のための規範(林業・木材産業)：  
林野庁 ([maff.go.jp](http://maff.go.jp))をご参照ください。